

出かけたくなる！エキスポエリアの旬な情報



# えきすぽさんぽ



大阪府広報担当副知事 もずやん



## 迎春



新年あけましておめでとうございます。

2020年3月に大阪万博の開催から50周年の節目を迎えます。

万博記念公園は、太陽の塔などの博覧会のレガシーを残しつつ、「緑に包まれた文化公園」として整備が進められ、多くの皆さまに愛されながら、発展してきました。公園の魅力を大切にしながら、これからも新施設や既存施設のリニューアル、様々なイベントなど、皆さまに楽しい情報や驚きの体験をいっぱいお届けします。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

入園料 | 大人260円、小中学生80円  
(自然文化園・日本庭園共通)  
休園日 | 水曜定休※12/25(水)、1/1(水・祝)は開園  
時 間 | 9:30~17:00(入園は16:30まで)  
イルミナイト万博開催日は  
9:30~21:00(入園は20:30まで)  
問合せ | 万博記念公園コールセンター  
0120-1970-89 / 06-6877-7387  
E-mail: info@expo70-park.jp  
H P | https://www.expo70-park.jp  
制 作 | 万博記念公園マネジメント・パートナーズ



### 松の洲浜 (MAP①/中世地区)

中世庭園地区(鎌倉・室町時代)にある白砂と松の木が美しい洲浜。こちらは、川が河口付近から海へと注ぐ姿を象ったものです。西端の「深山の泉」からの湧水が南北二つの流れに分かれ、ここで合流して心字池へ流れていきます。白い砂利のまわりにクロマツやハマボウなどの海岸に生える植物が植えられており、主任設計者である田治六郎は、ここに枯山水庭園の起源となる景観を再現した、と語っています。

## 新春の日本庭園を歩こう

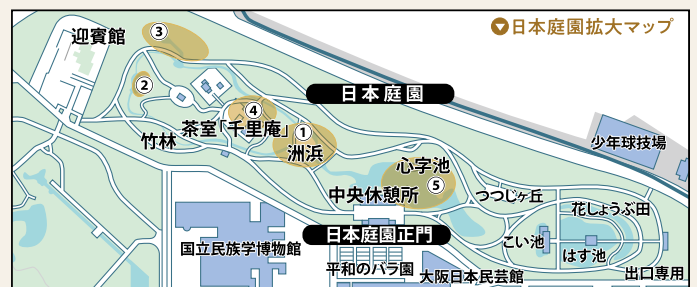
日本庭園は1970年日本万国博覧会開催に合わせ、世界中から訪れた方々に日本の造園技術の粋を披露するために造られました。上代・中世・近世・現代の4つの時代の庭園様式を一堂に見ることができる「庭園博物館的な見どころ」を持ち合わせており、それぞれの時代の庭園様式を取り入れて作庭された庭を觀賞しながら、ゆったりと散策をお楽しみいただけます。主任設計者の田治六郎の思いやアイデアを随所に感じることができ、見応えたっぷりです。

毎月第1・3土曜と第2・4日曜はボランティアガイドが解説をしながら、ご案内しています(1月から2月上旬はお休みとなります)。より深く日本庭園の魅力を知っていただけたらと思います。ぜひ、お気軽にご利用ください。



日本庭園ボランティアガイド  
岸上さんがおすすめする

### 日本庭園 八景の 見どころポイント



2・3月の日本庭園ボランティアガイド 約1時間でその日の見どころをご案内します。

日時 | 2/15(土)、23(日・祝)、  
3/7(土)、8(日)、21(土)、22(日)  
13:00~14:00 ※雨天中止

受付 | 日本庭園 中央休憩所前にて  
左記時間内随時受付  
※団体様(10名以上)も受け付けています。

料金 | 無料 ※別途日本庭園入園料が必要

### 深山の泉 (MAP②/上代地区)

平安時代は中国大陸の影響を大きく受けて、海をイメージした庭が発達しました。泉の中に立つ立石は島々を表し、手前の石敷きは洲浜をイメージしています。



#### 立石が特徴的

泉の中にある立石は鳥取県佐治川の水蝕痕の鋭い佐治石。まるで切り立った島のように見えます。

### 水の流れを岩で

勢いよく水が流れている4つの滝。石の組み方でこの見事な水の流れを造り出しています。



### 木漏れ日の滝 (MAP③/上代地区)

上代庭園(平安時代)にある滝も見どころの一つ。高さ3.5mの2段落ちの滝を中心に4つの滝があり、主瀑には岐阜県産のほか、徳島県産の17tの巨石が使われています。

### 千里庵の枯山水 (MAP④/中世地区)

室町時代には、水を使わずに石や砂、草木などで自然風景の山と水を象徴化する「枯山水」の庭が発達し、禅僧はこの庭の前で悟りを開こうとして日々座禅に取り組んでいたといわれています。



#### 2月頃には梅も

枯山水の庭の向こうには梅林があり、2月頃には梅の花が見ごろを迎えます。梅と一緒に庭を愛でるのも一興です。

### 額縁効果の松

中央休憩所の階段を登ったところから見える福岡県久留米市産の銘木クロマツは、まるで額に入った絵のようです。



### 心字池 (MAP⑤/近世地区)

真上から見たら「心」の文字を象った池で、周囲には数々の銘木が植えられており、築山とともに美しい風景を作りだしています。高さ3.3mの雪見灯籠は、愛知県岡崎市産で、笠の直径は3m、重量は13tあります。